

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

***天文機器資料館のメモ帳に書かれた意見・感想、それらへの回答**

国立天文台は、以前（ずっと昔：筆者が知っているのは昭和40年代から50年代）は毎週金曜日午後1時に正門に集まった見学者を事務の庶務係が案内するガイドツアーを行っていました。筆者はその後、内之浦から打ち上げるロケットを使った観測、大気球搭載望遠鏡、ハワイに建設した「すばる」望遠鏡にかかわったり、人工衛星開発にかかわり、三鷹の事情に疎くなり、これがどのくらい続いて、その後どうなったか知らないのですが、国立天文台になって12年後の2000年7月からは天文情報センターが中心になって国立天文台を一般に常時公開しています。この常時公開は案内人なしで、1) 第1赤道儀室(20cm ツァイス製赤道儀望遠鏡：2002年登録有形文化財)、2) 太陽系ウォーキング(第1赤道儀室から国立天文台歴史館に至る約100mの道路を太陽系の模型に模したもの)、3) 太陽塔望遠鏡室(外観のみ：1998年登録有形文化財)、4) 国立天文台歴史館(65cm ツァイス製赤道儀望遠鏡ドーム：2002年登録有形文化財)、5) 展示室を見学対象としてきました。

2010年4月からは、この常時公開エリアを2倍以上に拡大し、6) 旧図書庫(外観のみ)、7) レプソルド子午儀室(外観のみ)、8) ゴーチエ子午環、9) 自動光電子午環、10) 自動光電子午環エリアを加えました。

レプソルド子午儀室は、当初は外観のみの見学でしたが、筆者が中にレプソルド子午儀が現存することを見つけ、内部の整備を行い、国立天文台に残された子午儀を集め子午儀資料館として、現在はガラス越しに内部を見られるようにしてあります。レプソルド子午儀は2011年6月に国の重要文化財に指定されています。自動光電子午環室は、現在は国立天文台に残っていた歴史的に貴重な望遠鏡、観測装置、測定装置などを収蔵したプレ博物館状態になっており、名称も天文機器資料館となっています。しかし、十分な整備が出来ていないこと、人員の配置が出来ないことから従前のガラス室からの見学になっていて、収蔵物を充分見ることのできない状態が続いています。

このように、見学者の方の多くが興味をもつ太陽塔望遠鏡(アインシュタイン塔)、天文機器資料館の内部が見学できないことに、それらの整備を担当している筆者としても残念なので、これらの施設の中に入れていただくガイドツアーを2011年6月から始めています。このガイドツアーは事前申込制で毎週火曜日の午後1時30分から実施しています。国立天文台HPから申し込みが出来ます。

常時公開の見学者にはアンケート記入をお願いしていますが、記入台がないとの指摘があり、筆者が中心になっている天文機器資料館に筆記台を置き、見学の感想などを、自由にお書き頂くメモ用紙を置いています。この号は、そのメモの紹介と筆者からの回答です。2011年9月23日から10月11日の間のメモからいくつかを紹介します。

1) とても貴重な資料が多いのにも関わらず、放置に近いので、これを保管する手立てはないのでしょうか？事業仕分けは許せません。

→現在の天文機器資料館は、ご指摘の通り放置に近い状態で収蔵展示しています。しかし、国立天文台ではこのように古い歴史的な望遠鏡を大切に収蔵し展示しようとする試みは始まったばかりで十分な整備が出来ていません。人員の配置もできないでいます。このような仕事が発展し、国立天文台天文博物館へ向けて検討を進めています。

2) 施設内部が見学できて素晴らしいと思いますが、雰囲気は暗くて中に誰もいないので、入っていいのか迷いました。

→見学の出来る場所が多く、人員の配置が出来ないでいます。また入口の案内も不十分で申し訳ありません。気づくところから改善を進めていきます。

3) 様々な施設が見られてとても勉強になりました。

4) なんじゃーこりゃー！

5) 毎年、この日に部活で遠足に来ています。いろいろ勉強になりました。今度観望会に参加したいです。きれいですねー

6) 今日はだんな様と星の観測に来ましたが、星は見れませんでした。

7) この2Fにいる人は愛想が悪い！

→天文機器資料館には人員を配置していないので別の見学者では！

8) 電車を5つ乗り継いでようやく1時56分に着きました。抜けるような秋空の下、点在する天体ドームと自然の樹木が調和して、展示方法も万人に分かりやすく、理解が出来ました。南米ボリビア5000mの高地に建設するアロマ計画は人類の英知をかけて天体の様々な「なぜ」を解明してくれることでしょうか。それまでうーんと長生きしなくちゃー。

→遠くからのご来場ありがとうございます。5000mの高地に建設中のプロジェクトは南米チリのアンデス山脈のアタカマ砂漠に建設しているALMAと呼んでいる大型電波干渉計です。来年完成予定ですがすでに観測は始まっています。おっしゃるように人類に新しい知見をたくさんもたらしてくれることと思います。

9) 雨の中を見学に来ました。また、晴れた日に来たいと思います。大変勉強になりました。

10) 女の子2人で埼玉から来ました、宇宙がとっても広いことに改めて気がつかされ、人の悩みはなんてちっぽけなんだ！！と励まされました。

11) 中高年1名の天文館見学。前の方が記載されたように宇宙の広大さを感じます。

12) おき方は何とかならないのですか？

→毎年、このプロジェクトに使用可能なお金をつぎ込み少しずつ改善を続けています。十分な見学が出来ない状態をお詫びします。このことを現在解決できる方法として毎週火曜日にガイドをつけて中にお入りいただくガイドツアーを行っています。

13) 天体、宇宙には興味があり、いつかここに来たいと思っていました。私は宇宙に

行くとしたら木星に行ってみたいです。人間が知らないことがたくさんあり、それらがこれからの人間たちの励みになると思います。それと、宇宙の大きさを改めて認識しました。

- 1 4) 施設がとても大きく驚きました。他にもさまざまな装置があり、本格的だなと思いました。
- 1 5) 初めてきました。私は月が好きです。
- 1 6) 昔作られたなんて思えないものがたくさんありました。ぼうえんきょうが大きくてびっくりしました。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp